

にこにこ きらきら ゆめにむかって



おともがわ

学校報 No.1
保護者版
平成 29 年 4 月 6 日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

平成 29 年度のスタートです！

川辺の猫柳が白い穂を増やし、畦道の土筆も随分とその背丈を伸ばしてきました。学校の桜の芽も少しずつ膨らみ始めています。あちらこちらに次の出番を待つ命の息吹が感じられる 143 周年目の内小友の春です。

5 日は新任式、始業式でした。伸び伸びとした声で、口を大きく開けて一所懸命に校歌を歌う子どもたちの姿に、内小友のよさを感じました。新任式では 6 年生の〇〇〇〇さんが、全校を代表して歓迎の言葉を述べてくれました。読めば済むところを暗記して述べてくれたところに、歓迎の心が感じられ嬉しく思いました。

始業式では、4 年生の〇〇〇〇さんが「今楽しみなこと、がんばりたいこと」を、6 年生の〇〇〇〇さんが「今年度の目標」を発表しました。二人とも自分をよく見つめ、具体的な目標をしっかり立てていることに感心しました。

新年度に当たり具体的な目標をもつことが大切です。ぜひ、この機会にお子さんの目標を聞いてみてください。私たち職員は、子どもたちの今のやる気を大切に、健やかな成長に向けて努力してまいります。これまで同様のご支援・ご協力をお願いいたします。

<歓迎の言葉>

〇〇校長先生、〇〇先生、〇〇先生、〇〇先生、ようこそ内小友小学校へおいでくださいました。

内小友はホタルの里があって、夏にはきれいなホタルを見ることができます。水がきれいなので、おいしいお米がとれます。内小友小学校でも、春には田植え、秋には稲刈りが行われます。そして収穫感謝祭もします。みんなが楽しみにしている行事です。

内小友小学校は、元気で明るい学校です。早く内小友に慣れて、私たちと楽しく過ごしましょう。私たちも先生方と勉強したり、いろんな活動をしたり、休み時間に楽しく過ごしたりすることを楽しみにしています。

これから、どうぞよろしくお願いします。

児童代表 〇〇〇〇

<今年度の目標>

6 年 〇〇〇〇

ぼくが六年生になってがんばりたいことは三つあります。

一つ目は漢字を覚えるまで勉強することです。これまで、国語のテストの漢字は間違いが多かったけれど、読みと結びつけると覚えられそうです。勉強のやり方を工夫して、漢字をがんばりたいです。

二つ目は、忘れ物をしないことです。ぼくは、忘れ物が多かったと自分でも反省しています。自分の見える場所にメモをして、続けて忘れないようにがんばりたいです。

三つ目は、はきはきと発表することです。これまで、授業中や全校の前で発表するときは、すすんで手を挙げられませんでした。でも、小学校最後の一年間は、手をいっぱい挙げたいです。

この三つをがんばって、少しでも全校のお手本になりたいと思います。

<今楽しみなこと、がんばりたいこと>

4年 ○○ ○○

ぼくは、今日から四年生です。四年生は、ぼくにとって上学年というイメージが強いんです。それは、クラブも始まるし、それに新しい一年生が入学してきて、また妹や弟がふえるからです。スポーツでも、し合に出るき会がふえるし、勉強だってむずかしくなります。

ぼくは、今日からいよいよ上学年になりました。ぼくが今とても楽しみにしていることは、理科の勉強です。ゆうたさんから、四年生になると理科の勉強でソーラーカーを作ると聞きました。太陽の光を集めて車を走らせるなんて、考えるだけでわくわくします。

もう一つ楽しみにしていることは、新しく入学してくる一年生といっしょに遊ぶことです。友だちのじん太さんや大ようさん、みあさんの弟や妹が入学してくるので、今からとても楽しみです。休み時間には、こおりおにをしてお遊んであげたいです。あと学級活動でいあんで、一年生とのこう流会を開いてみたいと思います。

ぼくが四年生になってめあてにしていることは、けっせきをしないことです。三年生のころは三日休んでしまいました。四年生では、学校や家で体力づくりをがんばって、かぜをひかないようにして学校をやすまないようにしたいです。

四年生でもドリーム学年のみんなときょう力して、楽しい学校生活をおくりたいです。

平成 29 年度内小友小学校スタッフです！ よろしくお願ひします。

1	校 長	○ ○ ○ ○	8	3 年 担 任	○ ○ ○ ○
2	教 頭	○ ○ ○	9	4 年 担 任	○ ○ ○ ○
3	事務職員	○ ○ ○ ○ ○	10	5 年 担 任	○ ○ ○ ○
4	養護教諭	○ ○ ○ ○ ○	11	6 年 担 任	○ ○ ○ ○ ○
5	教務主任	○ ○ ○ ○	12	生活支援員	○ ○ ○ ○
6	1 年 担 任	○ ○ ○ ○	13	用 務 員	○ ○ ○ ○
7	2 年 担 任	○ ○ ○	14	校 務 員	○ ○ ○ ○ ○

一人残らず楽しいと思える学校に！ ～始業式での話～

【ごはんの実験】

空き瓶を二つ用意し、両方にご飯を入れます。
 一つには「ありがとう」と書いたシールを、
 もう一つには「ばかやろう」と書いたシールを貼ります。
 「ありがとう」の瓶には毎日「ありがとう」と声をかけ、
 「ばかやろう」の瓶には毎日「ばかやろう」と声をかけ続けます。
 すると、どうなったと思いますか



このように、どちらにもカビは生えましたが、「ばかやろう」の瓶の方にカビが多く、しかも黒いカビが生えたのです。

このように、ことばには不思議な力があるのです。よい言葉、温かい言葉にはよい響きがあるのです。その響きが影響を与えるのかもしれないですね。よい言葉をいっぱいかけてもらった心は、きれいな心になります。悪い言葉ばかりかけられると、心に黒いカビが生えてしまいますね。

よい言葉、温かい言葉は心が磨かれていないと出てきません。人に何かをしてもらった時に「ありがとう」と言えるのは、「ありがとう」と思える心があるから言えるのです。何か失敗したときに「ごめんなさい」と言えるのは、「ごめんなさい」と思える心があるから言えるのです。ですから、よい言葉、あたたかい言葉で笑顔いっぱいの学校にするには、心を磨かなければならないのです。

今年一年、心をしっかり磨いていきましょう。そして、あたたかい言葉であふれる学校に、一人残らず楽しいと思える学校にしていきたいと思います。